

【11月19日(木)進路講話の感想】

これからの時代は、世界とのコミュニケーションをとることが必要だと感じました。世界で解決すべき問題や、協力すべきことがたくさんあると思ったからです。そうになると、私たちは外国文化を知り、理解する必要もあるし、日本の文化を伝える必要があると思います。

私は、今からもっと英語を勉強し、世界の人と交流がもてるようにしたいし、将来は少しでも日本に貢献できるようにしたいです。(女子生徒)

今回の進路講話で、本多様のお話にあった「日本に誇りをもつ」「自信をもつ」という点が心に残りました。確かに日本は、多神教であり、独特の捉え方をもっていると思います。それを恥ずかしいと思わず、貫き通して生きてきたそれまでの日本人は素晴らしいと思います。だからこそ、自分の信念を貫き通すこと、そして、礼儀などの和の精神を大切に、これから、まっすぐに生きていきたいと思いました。(男子生徒)

本多様のお話を聞いて、世界の問題や日本の問題、また、日本の誇りについて知ることができました。日本は、少子高齢化が進んでいることは知っていたけれども、世界の中でもかなり進んでいることに驚きました。宗教についても、世界ではさまざまな問題が起きていて、日本の宗教観が注目されていることが分かりました。自分にできることは少ないかもしれないけれども、なるべく解決に向けて協力していきたいです。(男子生徒)

私は、「日本の特徴」が一番心に残りました。日本にしかない外国との違いなどを知って、もっと日本特有の文化や習慣を共有したり、自分たちに誇りをもったりしたいと思いました。また、今の少子高齢化の中で、私たちが将来を担っていくことになるので、今の行動が、自分の地域や、もっと言えば地球の今後のためになっているのかを考えながら生活をしていきたいです。(女子生徒)

私は、本多様のお話を聞いて、日本文化、特に宗教面での特色がわかりました。そこから、世界平和や幸せな世界をつくっていくには、日本の考え方が大切なのだという点で、日本という国に誇りや自信をもちました。また、日本では少子高齢化が進んでいることもわかりました。私たちが60歳になるころには、日本の人口が9000万人になり、その内、働くことができる人が約半分になっているかもしれないという予想に驚きました。そんな社会の中で、未来をつくっていくのは私たちだと思います。よりよい社会、幸せな社会のために、私は「共助」ということを大切にしたいと思います。国任せや自分たちだけでなんとかしようとするのではなく、お互い助け合うこ

とを大切にしていきたいです。(女子生徒)

本多様のお話から、日本の優れた文化や技術にもっと自信と誇りをもって生きていくことが大切だとわかりました。また、今後日本は、超少子高齢化社会となっていく、働く世代への負担が増えていくから、もっと他人のために働いていくという強い意識が大切だと思いました。だから、僕も働いてお金を稼ぐだけでなく、他人のために働く、という気持ちをもっていきたいです。また、受験はゴールではなく一つの通過点と思って、さらに全てにおいて自分を高めていきたいです。(男子生徒)

今日の講話を聞いて、僕は世界のことや日本のこれからについて考えることができました。僕は高校で宗教の勉強がしたいので、宗教のことについて知ることができてとてもよかったです。今、パリでテロが起きていることも「ふーん」という程度ではなく、宗教に関することとつなげて広い視野で考えていきたいと思います。また、これからの日本の高齢化社会のことについて考えるなど、先を見通していくことを身に付けていきたいです。(男子生徒)

お話を聞いて、これからは少子高齢化になっていき、誰も経験したことの無い世の中をどう生きていくのかを考える必要があることが胸に残りました。高齢者を支える人がどんどんと少なくなっていく、仕事をする人が約半分、残りの半分の人には仕事をしない・できない人、さらにこの割合が変化をしていきます。私たちは、中学生という立場ではあるけれども、日本や世界のために考えることはできます。だから、考えて、大人になったら考えたことを実行して社会に役に立つ、そんな人物になっていきたいです。(女子生徒)

私は、本多様のお話を聞いて、「和の精神」という言葉が心に響きました。日本では、電車に乗るときに並んだり、順番を守ったりすることは普通になっているけれども、外国の方から見ると、驚異であるから、このような動きや日本の文化を大切にしていきたいと思いました。また、何かを発言したり行動したりしていくときには、「相手のために」ということを考えて、あとから自分にその良さが返ってくるということも考えていきたいです。そして、このことが日本を大事にすることにつながり、グローバル化にもつながっていくと思いました。(女子生徒)

今回の講話を聞いて、これからの日本、世界について、これまで以上に知ることができました。一つ目は「宗教」についてです。イスラム、キリスト、ヒンドゥー、仏教、ユダヤなど、世界にはいくつもの宗教があり、それに基づいて生活習慣や考え方・生き方が違うということと、日本はいろんな宗教を「作り変えて」自分たちに合うようにしているということがわかりました。「和の精神」「ジャパブランド」を誇りに、グローバル社会に適應できる人になっていきたいと思いました。(女子生徒)

私は、本多様のお話を聞いて、宗教において、世界と日本人との考え方の違いや、将来私たちが生きる日本の課題について学ぶことができました。日本は他の国の人と違っていろいろな文化を取り入れて、自分たちなりに作り変えていくという良さがあることを知れたし、他の国の人と将来交流していくうえで、自分の国のことを理解し、誇りをもっていきたいと思いました。また、将来日本は、超少子高齢化になり、私たちが政策や日本をこれからどうするかを考えていくことになると思うので、しっかりと自分の意見をもってそれを反映させていけるようにしたいです。(女子生徒)

お話を聞いて、グローバル社会を生きていくうえで、日本人として誇りをもちなさいということを言われました。私は、日本という国について、そこまでの関心もなく、ただ日本で生まれたから日本人だと思っていました。しかし、今の日本は世界から注目されており、日本人であることが誇れることであると知りました。しかし、私が日本人としての誇りをもつには、日本について無知すぎると思います。たとえば、「和」についてもそれが何なのか説明しなくてはいけないとき、何も浮かんでこないような気がします。だから、私は誇りをもつためにも、もっと日本に関心をもって、日本人である自覚をもちたいと思います。(男子生徒)

私は、乳児院の職員になるのが夢です。国内での仕事が夢であるため、これまで、あまり世界とのかかわりはないと考えていました。しかし、外国へ行くことだけが世界とのかかわりではありません。国内にいても、2020年の東京オリンピックなど外国の方とかわることはあります。だから、日本人としての誇りをもって生活していきたいし、自分の人生を考え、社会人としてしっかりと生きていけるような人間に成長し、今回の本多様のお話を忘れずに、これからの日本を私たちはどのようにするのかを考えていきたいです。さらに、これからの人生は、自分に責任があることを自覚し、社会人として恥ずかしくない大人になりたいです。(女子生徒)

日本が世界から高い評価をされていることは知っていたけれども、さらに日本人であることに誇りをもって社会で働いていきたいと思いました。将来、自分の好きな職業に就くことも確かに大切なことだけど、周りのため、社会のために働けることに喜びを感じられるようになりたいです。今後、多くの問題などにあうかもしれませんが、自己判断ができ、行動できるように、学校生活で身に付けて社会で生かせるようにしたいです。(女子生徒)